

1 議 事 日 程

〔令和5年太宰府市議会 決算特別委員会〕

令和5年8月25日

午前10時55分

於 全員協議会室

日程第1 認定第1号 令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（17名）

| | | | | | |
|-----|--------|----|------|-------|----|
| 委員長 | 陶山良尚 | 議員 | 副委員長 | 長谷川公成 | 議員 |
| 委員 | タコスキッド | 議員 | 委員 | 馬場礼子 | 議員 |
| 〃 | 今泉義文 | 議員 | 〃 | 森田正嗣 | 議員 |
| 〃 | 入江寿 | 議員 | 〃 | 木村彰人 | 議員 |
| 〃 | 徳永洋介 | 議員 | 〃 | 船越隆之 | 議員 |
| 〃 | 堺剛 | 議員 | 〃 | 笠利毅 | 議員 |
| 〃 | 原田久美子 | 議員 | 〃 | 神武綾 | 議員 |
| 〃 | 小島真由美 | 議員 | 〃 | 橋本健 | 議員 |
| 〃 | 門田直樹 | 議員 | | | |

3 欠席委員は次のとおりである

なし

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（11名）

| | | | |
|---------------------------------------|------|--------|------|
| 総務部長 | 高原清 | 総務部理事 | 轟貴之 |
| 市民生活部長 | 高原寿子 | 健康福祉部長 | 川谷豊 |
| 都市整備部長 | 柴田義則 | 観光経済部長 | 友添浩一 |
| 教育部長 | 中山和彦 | 教育部理事 | 八尋純次 |
| 総務課長 <small>併 選挙管理委員会事務局長</small> | 佐藤政吾 | 経営企画課長 | 宮原竜 |
| 監査委員事務局長 | 添田邦彦 | | |

5 職務のため委員会室に出席した事務局職員の職氏名（3名）

| | | | |
|--------|------|------|------|
| 議会事務局長 | 野寄正博 | 議事課長 | 花田敏浩 |
| 書記 | 三舛貴市 | | |

開会 午前10時55分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

本日の決算特別委員会は、認定第1号について執行部から概要説明を受けたいと思います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） それでは、日程第1、認定第1号「令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

本案について説明を求めます。

総務部理事。

○総務部理事（轟 貴之） 皆さん、こんにちは。

それでは、認定第1号「令和4年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料といたしましては、事務報告書の決算の概要に沿って説明をさせていただきます。

なお、説明の都合上、決算額は1,000円単位とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

初めに、1ページの会計別決算状況をご覧ください。

令和4年度の一般会計の決算額は、歳入総額317億5,369万9,000円、歳出総額294億8,479万2,000円となっております。参考に、これを前年度と比較いたしますと、歳入では11億797万8,000円、3.6%、歳出では13億1,802万9,000円、4.7%の増額となりました。

次に、2ページをご覧ください。

こちらに普通会計決算の概略を載せておりますが、これからの説明につきましては、一般会計と住宅新築資金等貸付事業特別会計を合わせた普通会計の数値になりますので、あらかじめご了承ください。

歳入歳出差引額は22億7,041万円の黒字となり、ここから繰越明許費等による翌年度へ繰り越すべき財源4億2,931万円を差し引きますと、実質収支額として18億4,110万円と黒字決算となっております。

令和4年度は、長期化するコロナの影響に加え、エネルギー、食料品等の物価高騰も重なる中で、市民や事業者の皆様の支援に着実に取り組みつつ、投資すべきところには積極的に投資するなど、まち・ひと・しごと創生総合戦略、まちづくりビジョンに基づく各種施策に全力で取り組んでまいりました。また、事業の遂行に当たっては、限られた予算の中で効果的、効率的な事業の推進に努めてまいりました。

それでは、3ページ以降に記載しております決算の内訳を説明いたします。

まず、3ページの歳入からご説明いたします。

歳入全体の決算額は317億5,779万2,000円で、前年度より11億634万9,000円の増額となりま

した。市税や地方消費税交付金が増加し、またふるさと納税について、返礼品やサイトの拡充、積極的な広報など取組強化を行い、10億円の大台を上回るまでになりました。そのほか、繰入金や繰越金についても増加となっております。一方で、令和3年度の国、県との協力による子育て世帯や非課税世帯等の支援事業が大きく影響し、国庫支出金は減少しております。

次に、市税についてご説明いたします。

4ページをご覧ください。

市税の決算額は85億9,400万4,000円で、前年度と比較いたしますと2億7,682万5,000円、3.3%の増額となりました。コロナの感染対策や経済活性化対策の各種対策を積極的に講じてきたことなどから、主に市民税や固定資産税、また歴史と文化の環境税が増額となっております。

5ページをご覧ください。

こちらには一般財源の状況を掲載しております。

一般財源全体といたしましては205億3,173万6,000円で、前年度から13億2,328万円、6.9%の増額となりました。先ほどご説明しましたように、市税が過去最高を記録し、寄附金についても、ふるさと納税の返礼品やサイトの拡充、積極的な広報戦略といった取組強化などにより3億6,002万6,000円、41.2%の増収を達成したほか、繰越金などが増額となりました。

なお、6ページには、歳入を自主財源と依存財源とに分けて掲載いたしております。

自主財源につきましては、大部分が増額となったことから、前年度に比べ23億4,874万6,000円、20.2%の増額となりました。

依存財源につきましては、地方交付税や地方消費税交付金、県支出金などが増額となったものの、国庫支出金が大幅に減額となったことや、地方特例交付金や市債が減額となるなど、前年度に比べ12億4,239万7,000円、6.5%の減額となりました。

これらの結果、歳入合計に占める自主財源の割合が上昇する結果となりました。

以上で歳入の状況の説明を終わらせていただきます。

次に、歳出の状況をご説明いたします。

7ページをご覧ください。

歳出全体の決算額は294億8,738万2,000円で、前年度比13億1,748万6,000円、4.7%の増額となりました。

内訳を目的別に見ますと、公共施設整備基金への10億円超の積立てや、新たに令和の都太宰府ふるさと納税基金を創設し積立てを行ったことなど、総務費が7億9,311万2,000円、水城西小学校大規模改造事業など小学校施設整備事業の増加などにより、教育費が8億6,380万4,000円の増額となりました。また、農林水産業費について、令和4年に市内ため池の耐震診断、劣化状況調査を開始したことなどにより、前年度に比べ倍増となりました。一方で、先述の子育て世帯や非課税世帯等の支援事業の影響などにより、民生費が5億3,240万9,000円の減額となりました。

次に、8ページには歳出を性質別に分けて掲載いたしております。

義務的経費では、全体で14億1,374万6,000円の減額となりましたが、扶助費において、先述の子育て世帯や非課税世帯等の支援事業が影響し12億7,740万円の減額となり、大部分を占めました。

投資的経費では、小学校の改修や保育園の新設、市内幹線道路の改良事業など積極的な公共投資を行い、普通建設事業費が9億3,738万3,000円の増額となりました。

その他の経費では、ふるさと納税に係る物件費の増加や、市民や事業者への支援策として実施した下水道使用料免除による補助費等の増加、基金への積極的な積立てによる積立金の増加など、全体で17億4,469万7,000円の増額となりました。

以上で歳出の説明を終わらせていただきます。

次に、本市の財政状況についてご説明をいたします。

10ページをお願いいたします。

10ページに経常収支比率の推移を載せております。

経常収支比率は、財政構造の弾力性を示す指標の一つでございますが、令和4年度は92.6%で、前年度から2.2ポイント上がりました。主な要因といたしましては、市税は増加しているものの、普通交付税と臨時財政対策債が令和3年度臨時的に増加していたことや、物価高騰による歳出経費の増加などが影響しました。

次に、11ページに健全化判断比率を載せております。

健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標から成ります。本市の令和4年度健全化判断比率は、一般会計等の実質収支が黒字であるため、実質赤字比率の表示はなく、また公営事業会計も含めた実質収支の合計でも黒字であるため、連結実質赤字比率の表示もございません。一部事務組合まで含めた実質公債費比率につきましては3.0%となっており、昨年より0.1ポイント上昇しておりますが、地方公社や第三セクターなどまで含めた将来負担比率では、市債残高などの将来負担額から充当可能財源を引きますとマイナスになりますので、負担比率の表示はございません。したがって、11ページの表からもお分かりのとおり、太宰府市の財政状況は全て早期健全化基準及び財政再生基準以下であるため、健全化法に基づく財政健全化計画及び財政再生計画の策定は不要でございます。

12ページ、13ページをお願いいたします。

市債残高と基金残高の推移をグラフで載せております。

令和4年度中の市債発行額は13億794万円で、小学校施設の改修など市債を活用して積極的に普通建設事業を実施した一方で、臨時財政対策債が大幅減額となり、市債残高は前年度より11億8,345万4,000円減少し、195億1,030万7,000円となっております。

市債残高を分析いたしますと、このうちの約69%は後年度に普通交付税として交付される額で、また約13%が史跡地公有化の償還補給金などとして補助金で賄われます。よって、起債残

高のうち実質的に市が負担する額は約18%ということになります。

基金につきましては、中学校完全給食に向けた整備費や公共施設の改修事業の財源、また増加の一途をたどる社会保障費の財源として基金を一定程度活用しました一方で、将来や災害等への備えとして積極的に積立てを行い、基金の増加に努めました。この結果、令和4年度末の基金総額は、前年度より8億3,413万2,000円増加し、過去最高の65億4,110万4,000円となりました。

以上、簡単ではございますが、一般会計及び普通会計の歳入歳出決算についての概要を説明いたしました。

詳細につきましては、配付させていただいております決算書並びに事務報告書、監査意見書等をご参照いただければと思います。

説明は以上でございます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

質疑は9月13日の決算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 本日はこれもちまして散会します。

散会 午前11時09分

~~~~~ ○ ~~~~~